



発行所  
日刊自動車新聞社  
東京都港区芝大門1丁目10番11号  
購読料 1カ月5343円+税  
電話 東京(03)5777-2351代表  
©日刊自動車新聞社2016

3月3日  
(木曜日)

# 「素材提案」日本で強化

## マテリアルコネクション 採用事例生かして

先端素材に関するコンサルティングビジネスを展開する米マテリアルコネクション（ミネソタ・カンファクト社長、本社＝ニューヨーク市）は、日本の自動車産業に向けた素材用途開発の支援事業を強化する。東京都港区のシヨール

ーム＝写真＝やオンライン型データベースを広くPRし、国内企業の素材登録数や利用会員数を拡大する。BMWのコンセプトカー向けなどでの素材の紹介事例を生かし、今後は日本でも実績を積み上げていく。

同社は、化学品メーカーや繊維メーカーが開発したフアブリック（織物）素材を各分野に紹介する「素材提案ビジネス」を展開している。素材のデータベースには約7500点のアイテムが登録されており、世界22カ所にある自社



シヨールームなどに展示している。会員になることで、現

物見本の閲覧やオンラインでの情報検索が可能だ。グローバルでは3万6千人の会員数を持つが、約2年半前に進出した日本では「まだ、知名度が低い」（カンファクト社長）という。

一方、海外では欧州系自動車メーカーのほか、アップル、ナイキ、サムスン電子などのグローバル企業が同サービスを利用してはいる。BMWが2008年に製作した変形可能なコンセプトカー「GINA（ジーナ）」の布製ボデー

いは、マテリアルコネクションの素材データから発掘されたもの。米国との共通プラットフォームとして北米向け車両での採用実績が多い東レグループの高級人工皮革「ウルトラステード」などもデータベースに登録されている。現在は、日系自動車メーカーや内装部品メーカーに対する素材提案も進めており、「いま開発中の新型車が発売される3年後には、日本での良い事例を発表できるだろう」（同）としている。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。